

第6回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第6回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年9月1日（月）午後2時～3時50分
場 所	杉並第八小学校 ハッチールーム
出 席 者	懇談会委員 29名
傍 聴 者	3名
次 第	1 高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）について 2 その他
資 料	資料1 高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）

会長	<p>ただいまから第6回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催します。よろしくお願いたします。</p> <p>まだ席が空いているところもありますが、若干遅くなるという連絡もちょうだいしております。時間を過ぎましたので始めさせていただきます。</p> <p>また、傍聴希望の方もいらっしゃいますのでよろしくお願いたします。</p> <p>では、配付資料の確認から始めたいと思います。</p> <p>（配付資料の確認）</p> <p>それでは、次第に入らせていただきます。</p> <p>高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方についてです。これまでずっと委員の皆様方に高円寺のまちにふさわしい、目指す学校像について色々なご意見をちょうだいしてまいりました。</p> <p>今日は、来年度からの基本設計に向けて、新しい学校についての基本的なコンセプトをより具体的にまとめていければと考えております。まず、事務局からご説明いただけますか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>よろしくお願いたします。資料1「高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）」です。これまで懇談会でいただいたご意見をもとに、来年度の新校舎の基本設計に向けて、コンセプトを固めていくための検討素材として、たたき台を作成したものとご理解いただければと思います。</p> <p>参考資料として、左側に「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に位置づけた目的、目指す学校像を載せております。右側は前回第5回懇談会で使用した資料で、それまでの意見を整理し、柱立てした形で作成したものを載せております。</p> <p>本日はこの参考資料の内容と、本日の資料1の内容を見比べていただきながら、1項目ずつ記述の内容も含めてご確認いただき、これまでの懇談会でのご意見の中で出された大切な要素が抜けていないかという視点も含めて、ご検討願えればと思</p>

	<p>っております。</p> <p>検討にあたっての視点として、まずその新しくつくる学校は子どもたちの学びの場であること。これまで委員の皆様から、育てたい子供像についても多くの意見をいただきましたが、学校生活や教育活動を通して、子どもたちにしっかりこういう点を身につけていきたい。そのために必要な施設機能を現在の高円寺中学校地につくる新しい学校に、しっかり入れ込んでいく必要があるということが最優先で考えることではないかと思えます。</p> <p>次の優先度としては、これまでの高円寺地域の特性といいますか、高円寺らしさということでは、その地域の力を学校運営や子どもたちの生きる力を伸ばしていくことに最大限生かしていくというご意見が多数ございましたので、その辺の機能整備が必要であること。</p> <p>あと同じく並列で考える要素としては、その新しくつくられる学校が地域防災の拠点であるという重要性を持っていることなどが挙げられるかと思えます。</p> <p>最後に、できる限り新しい校舎に入れていければいいのですが、前回の懇談会でも現在の高円寺中の校地のキャパシティは、やはり現実にとらえると、全部入れ込むのは厳しいのではないかというお話もございました。やはり新校の一部として現在の杉四小の跡地を活用して、新校の学習環境等を補完できるような施設機能をそちら側に整備できたら望ましいのではないかと。このような視点で一つひとつ確認しながら検討を進めていただくと、今回つくろうとしているコンセプトを固めていけるのではないかと考えています。</p> <p>では、確認の意味で資料1の内容をすべて読んでいきたいと思えます。</p> <p>まず、1番の新校の教育方針では、これまでの懇談会の議論をもとに、一応事務局で3点ほど仮置きで記載させていただきました。現在3校の合同研修会の中で、教員の皆様で検討していただいている内容もございますので、最終的にはその教育方針の検討内容を反映させて、固めていただくイメージになると思えますが、今日の段階では仮置きということでご理解いただければと思います。</p> <p>(資料1 全文 紹介)</p> <p>これまでの懇談会の資料をお持ちでしたら、2回目の懇談会の資料2に、天沼小学校と杉並和泉学園の基本方針が掲載されています。そちらも参考になると思えますので、そちらも眺めながらご検討をお願いできればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、参考資料も含めて、何かご質問はございますか。よろしいですか。</p> <p>今日は少し時間をとらせていただいて、この5つの基本的な考え方について、委員の皆様方からのご意見をちょうだいしていきながら、新しい学校づくりの基本的な考え方について再度整理していったら、いよいよ基本設計に向けて考えをまとめていければと思っております。</p> <p>では、最初の新校の教育方針については、現在、杉四小、杉八小、高円寺中学校の先生方全員で合同研修会を毎月持たせていただいて、学期に1回授業研究を行いながら言語活動について学んでいるところです。</p> <p>恐らくこのあたりは次の学習指導要領の根っこになってくるのは間違いないと思えますし、この間の全国学力調査でも言語活動に熱心に取り組んでいる学校のレベルが高いというような相関も指摘されています。ですので、新校の教育方針の根っこについては、我々教員でもまた話をしていくことになろうかと思えますが、今出</p>

	<p>ているこの3点は、義務教育9年間を通して特性・能力が発揮され、豊かな感性を磨き、たくましく生きる。</p> <p>それから2つ目が、高円寺地域の特性を生かし、地域全体を「学び舎」ととらえるという考え方です。</p> <p>3つ目が、今までそれぞれの学校で育て、培ってきた環境教育、リーダーシップを育む教育、地域密着型のキャリア教育というところは生かしながらの継承・発展というようなところを今まとめていただいております。</p> <p>これについて委員の皆様からご意見があれば、いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>教育方針というところで、口火を切っていただくのは学校の先生にお願いしようかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私自身、この地域に長く居させていただいております。また昨年度は杉八小でもお世話になりました。それぞれの学校と小学校で育まれてきているこの特色になる部分は、去年とかその前からも小学校の授業とかかわりを持ってきた中で、これをもとに中学校でぜひ力を伸ばしていきたいということは、常々思い描いてきたところですので、この上から3番目ですが、やはりこれはきちんと本当にこの3校だからこその教育なのかと考えておりますので、カチッと確かな文言とかでは言えませんが、これは本校としても3校を1校として考えていけたらいいと思っております。</p> <p>また、小学校はものすごく言語活動について取り組んでおられます。中学校は若干遅れ気味になっているところが、私が着任して非常に感じているところです。そういう部分でやはり教員も交流を深めなければいけませんし、中学校の教員ももう少しその小学校のノウハウと言いますか、研究の部分については吸収、取り入れていかなければいけない部分があると感じておりますので、この3番についてはぜひお願いしたいと思います。</p> <p>あともう一点は、やはりこここの地域の方々はものすごく学校にいろいろご協力いただいております。だからこそ子どもたちが非常に素直で、うまい表現がどうかわかりませんが、すごく人懐こくて素直でいい環境に恵まれていると思っておりますので、やはり地域に根差した一貫校であってほしいという願いが私の中にあります。こんなところすみません。あまりまとまりませんでした。</p>
会長	<p>とんでもない。いきなりお願いして申しわけありませんでした。ありがとうございます。</p> <p>他の委員の皆様はいかがでしょう。</p>
委員	<p>最初にこの新校の教育方針ということで、やはり学校の中では教育方針というのが一番根本になると思います。今までこの懇談会の中で出されてきた皆さんの意見が、すべてここに集約されているということで、とてもすてきな3つの話になっていて、ありがたいことだと思います。</p> <p>先ほども言われておりましたが、杉並和泉学園とかいろいろな地域に小中一貫教育校はあるのですが、やはり高円寺地域にできるということで、この高円寺地域の特性を生かすというところがとても大事なことだと思います。</p> <p>では、高円寺地域の特性は何か。それはやはりこの地域にずっと住んでいらっしゃる方々や、ここで育てられた子どもたち、かかわる教育関係者が、これから詰めていかなくはいけないことだと思います。</p>

	<p>私が一番感じているのは温かさだと思います。ほかの人を許容するとか、受け入れる柔軟なところとか、子どもを純粹に愛するというのはどこにも負けない高円寺のよさだと思っていますので、ここを皆さんと考えて特色のある学校の基本方針になっていくといいと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。まちの温かい感じがとても伝わってくるお話をちょうだいしました。何か委員の皆様からございますか。</p>
委員	<p>今、他の委員からも教員同士というお話があったと思います。これは小中一貫教育校として見ると、やはり学びの連続ということで、子どもに与えるのは当然ですが、その前段として先生方の一貫教育に対する考えも、教育方針をつくる中での大前提になると思います。こここのところが何かソフト面で明確化されていないと感じております。</p>
会長	<p>そのあたりの小中一貫の9年間の連続性は、結構教育委員会からも出されているのは、我々は根っこの考えのベースになっているところです。ここには書き込んでいない感じもするのですが、そのあたりは新たにきちんと押さえていくべき視点だと思います。ありがとうございました。</p> <p>ほかにはいかがでしょう。ざっくばらんにどうぞお願いします。</p>
委員	<p>教育方針について私などは全然素人なので、どのようにあるべきものかがいまいち言葉にできないのですが、これを見たときにこの話し合いの中で、基礎学力とか学力はつけるのは当然だということでお話が挙がっていたのですが、この教育方針を見ると、どちらかというとならB学力に特化しているような印象を受けたんですね。</p> <p>やはり最低限というか、学力の面ではもちろんきちんとついて、それで社会に出ていかなければいけないと思います。その学力といっても学ぶ楽しさをこの地域教育の中から育てるといふか、学ぶことの喜びとか、その地域の中にかかわることの喜び、そういうもので自己肯定感といふか、そういうのが高められてそれが学力とかに跳ね返ってくればいいと思います。それがやはり高円寺らしさの中で育てて、子どもたちに与えてあげたいといふか。そういう中から何か子どもたちが学びを通して自分を律して、協調していくという気持ちを育てていってもらいたいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。学校も知・徳・体の3つをいかにやっていくかというところで、今の学力についてもきちんと力を伸ばしていく。学ぶ楽しさ、そういうものの上に立って9年間一貫して学んでいくところは、大きな大事な視点ですので、ぜひそのあたりも忘れずに基本方針づくりに盛り込んでいきたいと思っています。ありがとうございました。</p> <p>こうしていくとやはり委員の皆様方からのご意見を聞きながら、こういう学校の教育目標ではないですが、基本的なところを考えていく作業はなかなかいいと思いますので、ぜひ色々な面でご意見をちょうだいできるとありがたいと思います。他にも何かお願いします。</p>
委員	<p>この基本方針の中には、「家庭」ということばが1つも入っていないのですが、家庭というのは地域の中にもう含まれてしまっているということでもいいですか。</p>
会長	<p>やはり地域、家庭、学校の3者というのはありますね。</p>
新しい学校づくり係長	<p>委員のおっしゃるようなその辺を強調するような、きちんと位置づけることも大事な要素かと思うので、そういうところも少し考えていければと思います。</p>

学校支援課長	<p>新年度教育ビジョンで、子どもを取り巻く家庭、地域、学校、行政が一体となってとあります。今の視点は大事だと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。皆さん方の意見を聞くと大変参考になるので、気づかれたところをどんどん出していただけると幸いです。</p>
委員	<p>上から3番目ですが、これまで培ってきた過去が、特色を持っているいろいろやってきた中に、就学前教育との連携がこのところうたわれています。具体的には、杉四小には子供園と一緒に入っていて、そこで具体的に色々就学前教育を先生方に一生懸命やっていただいていた。</p> <p>今度新校になったときに、これがここにうたわれているということは、その辺を具体的にはどこまでされるのか。子供園を今のまま残しておいて、何かイベントがある度に子どもたちを新しい学校に呼んで何かをするという程度なのか。もっと踏み込んだ連携をとっていくのか。その辺がおぼろげになっていて、具体的にはどこまでを考えているのだろうかというのが見えないような気がします。</p>
会長	<p>このところは今までの議論の中でご指摘をいただいたところで、今までずっと続けてきたものをどうするのかというのは、具体的にそのあたりも含めての議論になっていくと思いますが、事務局としてはそのような方向性ですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>高円寺北子供園と杉四小が中心にやっている就学前教育との連携ですが、その実践も踏まえて、就学前教育が子供園だけではなくてやはり高円寺地域、例えば当然保育施設もある。現在の取り組みを踏まえて、地域全体の就学前教育がもう少し発展するのは難しさがあると思いますが、何かそのようなことを今後、新しい学校の中で考えていくとか出していければいいのではないのでしょうか。</p> <p>当然難しいのは承知していますが、やはりこれまで数年やってきて、本当に何かいい形でまた発展できればという思いがあります。</p>
委員	<p>今のことに関して、就学前の教育は幼稚園とか子供園、保育園だと思いますが、保育園とかだと管轄が違いますよね。文科省管轄と厚労省管轄で何かをやりたいといったときに、いいアイデアとかを提示しても、管轄が違うからそれはできませんということは今までも多々あったと思います。それは児童館でも管轄が違いますよね。その辺は何とかなるのですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>杉並で例えば幼小連携みたいな形で始めて、いろいろな地域でその取り組みが行われています。やはり地域によって当然私立幼稚園もあったり、区立の子供園があったりします。保育園と小学校で連携をとって様々な展開もやっているところでは、確かに国の管轄も違って、区も教育委員会と子ども家庭担当部とかはありますが、やはり小学校があって、そのエリアでどういう取り組みをしていくかということを決めてやっていける話かとも思います。ですので、これまでの実践を踏まえて展開できれば、1つの高円寺らしさにもなるという思いで書き込ませていただきました。</p>
学校支援課長	<p>委員がおっしゃったように、国では管轄が違いますが、杉並区の場合には就学前教育担当という課もございますので、その中で保育園・幼稚園・子供園の先生方の研修を一緒にやるなど、連携しております。ですから、またそういったところは、高円寺地域の連携も何か考えていければいいのかなと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。このあたりもどんなふうに関係できるかは未知数のところもありますが、そういうことで新しい学校づくりの根っこにも入れ込んでいければいいという気持ちでおります。</p>

	ほかにこの1番目の教育方針についてご意見はございますか。
委員	<p>3点書かれていますが、1点目については義務教育の9年間を通してというところ以外は、大体の学校がこういうことをうたっているのではないかと思います。</p> <p>特徴的なのがやはり2番目の高円寺地域の特性を生かしということところです。職場体験やボランティア活動などの様々な体験を通してというところが、新校の特徴的なところですよ。</p> <p>3つ目の就学前教育との連携、環境教育、リーダーシップを育む教育、地域密着型のキャリア教育など3校の優れた教育の特色を継承・発展させるという点も、よその学校にはない新校の特長だと思います。この辺の特徴的なところをさらに色濃く出して、教育方針を練っていただければいいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にこの1番についてご意見はございませんか。</p> <p>それでは、ちょうどした9年間を通したところ、学力ですね。学ぶ楽しさ、高円寺らしさというようなところは、この教育方針の根っこになっていくと思います。</p> <p>これからまた先生方、委員の皆様方と考えながら、ずっときつこの作業は続くのではないかと思います。教育方針については考えていきたいと思っています。</p>
委員	3番目に環境教育という文言があります。これは具体的なイメージがあまりわからないのですけれども。
新しい学校づくり係長	日本建築学会がかかわって、他校と違う環境教育を杉八小が実践してきたというところで、具体的には書いていませんが、環境教育をまた新しい学校でうまく発展できればというイメージです。
会長	<p>その部分も先駆的に研究されていると伺っていますが、これから生きていく上で、今後環境について考えるのは避けて通れないところでもあると思います。ですので、今までの議論の中でも緑が多いとか、豊かな自然を残してというようなご意見もたくさんちょうだいしているんで、この辺の視点はやはり大事なところかと考えながら、具体的にはどんな環境教育を展開していくのかは、これからの課題になると考えております。また、これについてもこんなふうにやったらいいとか、こんなところがあるというのがあったら教えていただけると幸いです。</p> <p>それでは、2番目の豊かな人間性を育む学習環境の整備充実という項目に移りたいと思います。今も環境教育のところに出てきましたが、緑豊か、自然に触れ合う、季節感を感じられるという視点が1つ目です。</p> <p>2つ目の運動能力の向上は、はっきり能力の向上と決めておりますが、校庭・体育館・プールの施設的な面から9年間子どもを育てるところですよ。</p> <p>次に、学力になりますが、習熟度別やら少人数で、個に応じたきめ細かい指導ができる学校、そういうスペース。そして子どもたちの交流は、先ほども出ました未就学児やまちの人々との交流ができるスペース。あと特別支援を必要とする子どもたちを含めた形での教育的ニーズにこたえられるべきだというようなところが、2つ目の学習環境で指摘されていますが、これについてご意見がございましたらお願いいたします。今5つまとめております。</p>
委員	学習環境の整備ということですが、今までの特色ある教育を考えているときに、理科教育とかそういう部分が話に出てきたと思います。それについては全くここには触れられていないのですが、理科教育については難しいということですか。

新しい学校づくり係長	<p>そんなことはありません。例えば、理科教育とか言語活動、例えばコミュニケーション能力とか英語力の話もございまして、本来ここに入っていていい中身です。わかりにくいと思いますが、5番の杉四小のほうの項目の1番目の記述の内容が、そういうところを含めて書き込んでいるところです。</p> <p>新しい学校に入れるもの、杉四に持ってこうというもの、これは事務局で一応整理上このように分けていますが、やはりできるだけ高円寺の新しい学校に機能として入れたほうがいいわけです。</p> <p>ただ、現実的には入れたいけれども、この部分は杉四を使っていきましょうという議論もまた後でやっていただくのですが、そんなところも含めながら考えていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。議論の中でスーパーサイエンススクールであったり、国際理解の推進であったりというようなところも出ていたと思います。このあたりも大事な視点という感じはしております。</p>
委員	<p>今のお話で、5番でいろいろお話ししようと思っていたのですが、今まで我々が聞いていたのでは、新しい学校のほかに杉四小の校庭は新しい学校で使う。校舎についてはあまり使わないというイメージを我々は受けていましたが、今のお話ですと校舎も使うという認識でよろしいですか。</p>
学校支援課長	<p>計画の中でも当然体育館、校庭は使っていこうということは明確にしたわけですが、校舎も使える部分については使っていきたい。ただ、これは全部が学校教育で使えるかどうかはまた別で、多分生涯学習とかでいろいろな分野で使う可能性もございすけれども、この中でいろいろご意見をいただいたものは、また教育委員会に持って帰って、入れられるものは入れていきたいという思いです。</p>
会長	<p>そういうことでまだこれから検討の余地があるという理解だと思います。</p>
学校支援課長	<p>この場でいろいろとまたご検討いただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。学習環境の整備に関して何かここでご指摘がございましたらちょうだいできますか。</p> <p>それでは、2番の豊かな人間性を育む学習環境の整備については、今まとめていただいたものをもとに、さらに今までご議論の中で出ていた理科教育であったり、国際理解教育であったりというようなところは、この後の5番でまた考えていただくような形で、基本的にはこのようなところを根っこに新しい学校づくりの基本的な考え方のたたき台としたいと思っています。</p> <p>続いて3番です。先日も防災訓練がございました。安全性が高く、新規防災の拠点となる学校ということで4点、防災性・防犯性を備え、子どもたちにとって安全で安心できる。2つ目が放課後の安全と良好な育成環境を確保した学童クラブ。3つ目が地震等の非常災害時に地域の避難場所、復旧拠点として十分な防災機能を備えていること。災害時には地域の高齢者等も利用することを配慮したユニバーサルデザインという4点をまとめていただいております。ここについてはいかがでしょうか。防災・防犯性というのは当たり前の話で、これは前提条件という感じかなと理解します。学童クラブについてのご意見とかはございますか。</p>
委員	<p>防災性・防犯性を備えというのは割と抽象的。当たり前といっは当たりの話ですが、新しい学校だから特にどうこうという必要はないのかなという感じがしますし、例えば消防自動車が入りやすくするとか、そういった何かイメージも含めて</p>

	<p>もらう。何かあまり防犯性、安心できる居心地のいい場所というのは意味がぴんとこないという感じがします。</p>
会長	<p>確かにおっしゃるとおりだという感じがしますが、高円寺のまちも北側のところはかなり道も狭いし、そのあたりも含めて記載されているところです。</p>
委員	<p>今度できるのは、容積率を考えたら上に伸びるようなイメージですので、そのときに例えば中でエレベーター設置とかいろいろそういうことも含めて、そういった防犯・防災体制の青写真をどのようにつくっていくのか、ビジョンとしてよく見えないという気がします。</p>
会長	<p>それはこの後考えていくべきことになりますかね。ありがとうございます。</p>
委員	<p>イメージで失礼ですけれども、場所が環七沿いで駅に近いとかそういうことで、帰宅困難者とかがやはり多く来るのではないかと思いますけれども、そういう方に対応できるようなつくりとか、そういうことも視野に考えていくということですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>そこまで具体的に踏み込んで考えて書いているイメージではないのですが、確かに駅から近い。当然3. 11の震災のときもやはり帰宅困難者がたくさん出て、そういうこともある中で、今は防災課では荻窪地域で帰宅困難者対策として、当然公共施設だけでは受入れは難しいところもありますので、例えば駅前にあるビルとか商店街とか、そういうところのご協力を得ないとなかなか厳しいというところもあって、そんなふうにし少し議論を始めてきたところだと思います。</p> <p>いずれにしても防災対策では、やはり総合的にそういうところも少し考えながら、実際にはつくっていかなくてはいけない。ただ、特別に何か帰宅困難者対策としてこういう機能というのはないと思いますが、当然体育館だったりいろいろな教室、校庭だったり、そういうものをすべて活用するという話だとは思いますが。やはりそういう視点もきちんと頭の片隅には入れておく必要があると思います。</p>
委員	<p>今、各校に防災の拠点の機能として防災倉庫が設けられていると思います。それが今度新しい学校にも当然それができるでしょうし、杉四がそうやって使われていたから杉四もそうでしょう。杉八にも当然防災の拠点としての防災倉庫は設けられていると思うので、その辺の配慮はどういう考え方なのでしょう。</p>
学校支援課長	<p>それはまだ確定はしていません。ただ、今の新泉小学校とか永福南小学校なども、そういった倉庫が残っていくような感じです。当然そういった防災機能は残していく必要があると考えております。</p>
新しい学校づくり係長	<p>高円寺の新しい学校づくりの計画の中でも、学校跡地の活用という項目がございます。防災機能を持った拠点にするなど、災害に強いまちづくりに配慮するとともに、跡地に関してはやはりそういう視点を書き込んでおります。ですので、具体的に杉四小、杉八小の跡地の活用に関しては、今後区で詰めていくわけですが、常にそういうことを念頭に置きながら検討していくことになっていくと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それぞれ震災救援所としての機能もございますので、そのあたりも含めての検討は、防災課などともしていくことになろうかと思えます。そのような視点でいきたいとは思っています。</p>
委員	<p>杉四小の跡地を利用するというのであれば、そちらとの相互の交通なんか特に考慮したほうが良いと思っています。当初は環七の上を横断するようにつくってくれというような無謀なことも言いましたが、それは極端な例かもしれませんが、</p>

	そういったことも十分考慮すべきだと思います。
会長	どうやって環七を渡るかという話ですよ。わかりました。 ほかにはいかがですか。
委員	<p>安全性の面で安心・安全な居心地のいい学校ということですが、子どもたちの交通安全の面、登下校の安心・安全の確保がすごく重要にはなってくると思います。杉八小側から子どもたちを通わせるとなると、やはり危険な箇所が大分出てくると思いますので、そちらが確保できていないと保護者の方は安心して子どもたちをあそこまで通わせることができないのではないかと思います。</p> <p>あと交通安全指導員の配置のこととか、門のところの警備さんの管理も、いつも予算要望でも杉並区に出ささせていただいていますが、もしかしたら減らされてしまうかもしれないというお話も聞きます。そのところの安心できる確保があると、子どもたちを安心して通わせることができるのではないかと思いますので、そういう面の安心・安全もお願いしたいと思います。</p>
会長	通学路の安全・安心についても十分入れ込んでいく必要がございますので、これも今後皆さんとともに考えていきたいと思います。
新しい学校づくり係長	<p>通学路に関しては、これまでも懇談会のメンバーの方と一緒に危険箇所とかを全部実踏して新しい学校の通学路を定めていっておりますので、そういう手順を踏みます。</p> <p>あとは、統合校に関しては、当然通学エリアも広がるので、交通安全指導員の配置にも配慮しなくてはならないということもございますので、その辺はまたその検討の年次が来ると思います。そこで具体的に皆さんとご相談させていただければと思います。</p>
会長	<p>了解しました。ぜひまた皆さんでまちを歩きながら考えていければと思います。この安全、防災については大体よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の項目4の地域を生かし、地域とともに歩む学校と、ここもずっと今までご議論に上がってきたと思います。新しい学校は地域の学校ということで、まちの皆さん、保護者の皆さんとともにつくっていく学校になろうと思います。そんな学校を支える人たちの活動のスペースの確保であるとか、高円寺地域が持つ地域力を学校運営に最大限に生かしていくために、子どもや大人が触れ合い、互いに学び成長するスペースという2点がここではまとめられております。</p> <p>子どもたちの学び舎というところがメインになってくるのですが、そういうところとまちの皆さんとの交流スペースとか、まちの皆さんが活動する場所についても確保するという主旨です。これについてはご意見はございませんか。</p>
委員	PTA会議室は入っていますか。
会長	PTA会議室がないということはありません。まちの方も使える、もちろん支援本部やそういうところも入れ込んでくると思います。
委員	<p>2点目に、高円寺地域が持つ地域力を学校運営に最大限生かしていくために多目的スペースを設置するとありますが、前にいろいろなご意見が出たときに、地域教育とか家庭教育といいますか、学校で得た情報を地域とかに還元して、また地域の底上げという変な言い方ですが、教育していくみたいな話があったと思います。</p> <p>スペースがあればいかにようにも使えると思いますが、この文言だと地域から学校にという方向しか見えてこないの、学校から外に出るためのスペースというか、</p>

	そういう意味合いも文章に含められると広い感じがすると思いました。
会長	ありがとうございます。おっしゃるとおりです。一方通行はあり得ないですね。必ず双方向になると思いますので、その表現は工夫できればと思います。
委員	確認ですが、地域運営学校のこともここには入っていると思いますが、保護者は地域運営学校の中には含まれないと思いますがどうですか。
学校支援課長	地域運営学校は場所によってはP T A会長が入っているところもございますので、構成員はそのときにご相談します。
委員	でも、学校支援本部に保護者は入っていない。
委員	一応会議には出ていただいています、正式なメンバーというわけではなく。
学校支援課長	地域運営学校は、支援本部等の本部長がC S委員だったりとかして、学校支援本部とP T Aが入っている組織です。
会長	<p>では、今度地域運営学校のパンフレットなどをお持ちいただいてご説明いただくと。そこに詳しく書いてありますが、構成員はまちの人と公募の委員さんもいらっしゃいます。そのような形で学校をどうするかという会合をつくって、学校運営をしていかれることになると思います。</p> <p>この4番について他はいかがでしょう。</p> <p>では、地域運営学校について今後の会で事務局よりもう少し詳しいご説明をいただいて、委員の皆様方のイメージをつくっていただくことにしたいと思います。それと地域とともに歩むということで、地域からだけではなくて、学校から地域とともにという視点を忘れないでいければと思っております。</p> <p>それでは、最後の5項目になりますが、杉並第四小学校の跡地を活用した学習環境等の高度化・多機能化についてです。この項目については、これまでも何点か委員の皆様からご指摘をちょうだいしていますので、事務局から改めてご説明いただけますか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>先ほど話の中でも少し触れたのですが、この項目については事務局でも本当に仮置き仮置きという形で、杉四小の跡地を検討していく中ではやはり何か振り分けた上で、委員の皆様からご意見をいただかないとなかなか厳しいだろうということもあって、一応この4つの項目を書き出しています。頭を悩ませながら書き込んだというのが正直なところですが。</p> <p>例えば、今この5番の4つの項目に書いている内容で、2つ目で子どもたちが太鼓と阿波踊りの練習を常にするから、杉四小ではなく新校にこういう機能は入れ込んでいきたいというご意見もあっていいと思います。</p> <p>また、これまで1から4まで検討した内容についても、確かに新しい学校に入れていければ本当に望ましいのですが、入らなかった場合はやはり杉四小を活用するという選択も考えていかなければいけないということで、そんなイメージで様々なご意見をいただければと思っております。</p> <p>来年度は、基本設計の予定があります。新校にできる限り入れるのですが、杉四小にある程度振り分けを決めていかないと、設計作業に実際に入っていけないという悩ましさもあります。あとは振り分け方によっては、新しい学校の開校後の運営にも非常に影響が出てくる話もございますので、やはりここはひとつきちんと検討する必要があるということです。</p> <p>杉四小の跡地活用について、これまでも懇談会で申し上げていますが、まだ具体</p>

	<p>的に区でこういうふうによっていきますと決まったものではありません。</p> <p>この懇談会でも、例えば新校の一部機能としての活用法について、検討いただいた中身をやはり、杉四小・杉八小の跡地の用地検討で、庁内検討組織もごさいます。ですので、そういうところにここでお話しいただいた内容について、新しい学校の一部機能として杉四小はこのように活用したいというところを教育委員会として出して行って、実現可能なように私どもは動いていきたいというところもあります。</p>
委員	<p>自治会関係として、ゆうゆう館を利用する自治会の会員の皆さんは、高齢化でほとんどが老人です。それでゆうゆう館がNPOに移管されて、割合間口が広がって地元の人が使いにくい面も出てきていると思います。</p> <p>会館を持っていないような町会もありますので、杉四小の中に子どもと老人が接触できるようなスペースをぜひお考え願いたい。これは町会としての意向が出てくると思います。</p> <p>以前、子どもとの交流として、杉四小でいつか戦後体験のおじいちゃん先生とかという形で、質問を受けることをやったことがあります。とてもいい雰囲気だったので、そういう交流の場がもう少し増えたらなおいいので希望します。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今、委員から出された部分などは広くとらえると、この項目の4番目ぐらいで地域イベント活動などと書いていますが、確かに高円寺の場合に様々なイベントを地域の力で企画して実践しているところもあるので、そういう活動を例えば高円寺のそういうことにかかわっている大人と、新しい学校の子どもたちが協力し合って、イベントに携わっていくようなイメージで描き込んでいます。</p> <p>確かにおっしゃられたようなところも含めて、地域のコミュニティの場となるよう活用していきたいという今みたいな意見も出していただいて、持ち帰っていきたいと思います。</p>
会長	<p>そういうことで項目5番目についてはもう既にどうのこうのと決定しているわけではございませんので、ぜひ皆様方からいろいろなご意見をちょうだいして、検討のベースにしていければと思っております。</p> <p>ここには幾つか出ておりますが、教育内容、指導方法を見越した機能水準を備えた教室の整備と、先ほどここで理科だったり国際理解だったりということも含めて考えてはいかがでしょうかという話もちょうだいしました。</p> <p>2つ目が、太鼓、阿波踊り、お琴というようなところもできる場所があるといいということですね。それから、教室や校庭、体育館等を使ってクラブ活動、部活動、人とのつながりを深めていく幅広い世代の人がというのは、今ちょうだいしたご意見にもつながってくるのかもしれませんが、そのようなところでの活用、スポーツ、そのほかのことも含めてということですね。</p> <p>それから、地域イベント活動、その他活動できる地域イベントの拠点というように、今4点まとめておりますが、これについてご意見いただきます。</p>
委員	<p>意見というかこの資料を見ての単純な感想です。杉四小の跡地に関しては、あそこは新しい学校ができたときの第二校舎的なイメージをすごく受けます。教室をつくるとかということはそういう理解でいいでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>最初に書いてあるのは、他の委員からも先の項目でご質問があったのですが、新しい学校に機能が入らないから杉四小に持って行ってやるのではなくて、どちらかという新しい学校の特色になるような、これまで委員から理科とか言語活動とか、そういう力をつけていくようなお話がありました。その特色ある教育を展開する1</p>

	<p>つの場として、何か活用できればというところで、そんな打ち出し方ができないかという意味合いで書き込んであるものです。</p> <p>決して高円寺中側がいっぱいだからこれを杉四小に持っていきましょうという発想よりも、どちらかというところの最初の記述については、場所を移して何か特色ある教育活動を展開できればいいのではないかとというイメージで描いています。</p>
委員	<p>まだ本当にまっさらな状態ということでもいいですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>まっさらな状態です。ですから、例えば新しい学校はここまでしか入らないというところも今お見せできていない段階で、こういう議論はなかなか難しいのは承知しています。ただ、やはり杉四小の跡地活用をある程度、新しい学校の一部機能としてこのように使っていきたいというところが最初の話になっていくものです。様々な意見をいただけると本当にありがたいと思います。</p>
会長	<p>そういうご説明ですがいかがですか。お願いします。</p>
委員	<p>今回のこの計画ですが、杉四小、杉八小、高中の関係者、地域の全部、賛成・反対も含めてこの計画が成り立ったわけです。この計画の冒頭には施設隣接よりも充実した施設一体型がもう明記されています。当然のことながら、集約した学校が高中跡地にできるということで、地域がまとまってこういう話し合いが広げられていると私は理解しております。</p> <p>前回ですか、3校の校長先生から高中のスペースでは、学習部分も含めて完結できないというお話もありました。もちろんコミュニティとか防災といったものも含めると、とてもキャパがないというのは私も正直感じております。</p> <p>ただ、施設一体型という子どもたちの学習面に関しては、これがもう計画の中ではすべて高中の校地でやるという理解だと私は思っております。どのくらいの施設のキャパがあるかはわかりません。なぜか今回、杉四小の跡地利用という形が明文化されること自体は、いくら白紙の状態といってもこれは検討に入ってしまったと思います。</p> <p>まずは高中でどれだけのものが建って、そこで全部完結できればいいわけですよ。そこをまず提示していただくのが順番だと思います。渋谷の学校を見ましたが、あれだけのものが建てば完結できると思います。ただ、それなりの相当な予算がかかると思います。</p> <p>私は前回の第5回の会議の中で、覚悟を持ってやってくれと言いましたが、その部分をまず曲げてしまうと、これは順序が逆だと思います。ほかの委員の皆さんはいかがでしょう。</p>
会長	<p>いかがですか。</p>
委員	<p>実はその5番目の項目について、高中と杉四小の敷地の施設を合体させていくということは、杉八小が単に消えるだけだと嫌味にとる人もいるかもしれません。高中1カ所に集中させることが大前提であったと思います。その意味で、杉四小跡地に学習環境までもかなり取り込んだ形をつくることは、杉八小関係者が不満に思う可能性は非常に高いと思います。</p> <p>もしどうしてもやる場合は、この5項目の第1に書いてある具体的な内容、何がこの中身なのかです。より望ましいことをあれもこれもと取り込んでいけば、キャパが足りないから杉四小の敷地も利用するといって広がってしまいます。</p> <p>ですから、高中敷地にどこまでもこだわるというくらいの気持ちで、そこででき</p>

	<p>る限界で質をよくしていく。例えば国際的に英語力をつけるとか、言語能力とか、理科振興のことだとかいろいろなことを言えば増えますが、どれかを割愛する決断がむしろ特色ある新校の柱になるのかもしれない。ですから、むしろ高中を学習環境として100%満たしてくれること。そして杉四小を生かすのはグラウンド、体育館のみと、教室を使う場合はよほど特殊なことですね。</p> <p>かなり説得力のある例えば理科実験のイベントが開かれる、音楽演奏等においてあるイベントを開く、そういうスペースとして使っていく。常時教室として機能するような部屋は、本当はあって欲しくない。それが杉八小のほうの気持ちかな。ですから、あれもこれも入れなくていいです。高中の敷地にいい学校、1つのまとまりある学校ができれば、もっとあれもあればいいと思うけれども、この3校の成り立ちからでは、という説明ができる結論に持っていきたい。</p> <p>それで1つ大事なことは、防災拠点というのは非常に大きな柱です。ですから、いまの杉四小のほうはむしろ商店会がいっぱいあって、狭あい道路が密集していることからすると一番近い。馬橋公園の馬橋小と杉四小のほうはむしろ行ける場所です。環七を越えて避難所だからそこへ行くことはまず100%不可能かもしれません。そうすると、杉四小跡地が防災拠点として非常に手厚い施設になってくれたら、それはまちの人に理解されると思います。それは杉八小も同じです。防災拠点として十分に考えていただいて、それなりの機能がここにまたつくられて、保障されていくのであれば、これもまちの理解は得られます。</p> <p>夢を語ってたくさんの考えを込めていきたい。それをやる場合に小さく、例えば10個あるのを10個入れてしまうと、それぞれが10グラムになってしまう。それを5個にすれば1個の質が20グラムに上がるわけですね。そういう絞りが可能だろうと思います。これは先生方が3校で話をなさっている中で、この学校でどんな教育をやっていききたいか。その教育の成果としてどんな子どもを世の中に出していきたいか。その中から絞り込んでいただければと思います。</p> <p>変な言い方をしていますが、要点は杉八小がなくなって、結局杉四小と高中が残ったという印象には絶対なってはならない。嫌味にもそういう見方をする人のクレームがつかない枠を守っていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。学校的にはもちろん1つになったほうがいいのですが、今までの議論の中で、いま、委員がおっしゃるとおりで、いろいろ増えていくとどうなるのかというのは悩むところかなというのはありましたので、1つの視点かなとお話を伺って思いました。</p>
委員	<p>私も基本的な考え方という中で、項目4番目までは非常にいいと思っていました。この5番目では、はじめからもう杉四小跡地を活用するとあると、第二校舎というイメージにもなってしまうし、説明を聞いたらこれはそうではないと。</p> <p>ただ、それにしても項目が多過ぎるのではないかとというのがあります。他の委員がおっしゃったように、確かにここにはじめからうたうというのは、少し考え方が違うのではないかと私も非常に思っております。なので、キャパとして入らないから杉四小跡地を利用するというのはいのちの考え方であって、新しい学校をつくるという意味合いで言うと、この基本理念の中に果たしてそれは必要あるのかという話になってくると思います。</p> <p>今までの説明の中では、校庭のキャパが足りないから、いまの杉四小の校庭は利用しますという話は今までずっと聞いておりました。ただ、校舎も利用しますとい</p>

	<p>う話は、今まで一切聞いておりませんでした。何らかの形で利用しなければいけないだろうという話は聞いておりましたが、それはその後の話であって、今は新しい学校をいかにいいものをつくるかです。</p> <p>この間、渋谷の学校を見に行ったときに、あんなすごいものが果たしてできるのか。私もそこまでは思っていない。ただ、やるからにはしっかりしたものをつかってほしいです。できた後にやれ足りない、ああすればよかったとか、こうすればよかったというのは非常に多いです。私も行政にいますが、行政の建物は、お金がないから変なものできたというケースはあります。せつかく時間をつくってみんなが集まってきているので、しっかりしたものをつくりたいと心から思っています。まさに新しい学校づくりに視点を置いたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>この項目に杉四小を今後活用するとうたうのはいいことかもしれません。けど、今の段階で両方を視野に入れて検討すること自体が非常に中途半端だと思います。</p> <p>だから、この項目4番まではよかったのですが、5番を見たときに、どういう意味なのだろうかと思いました。何度も言いますが、杉四小跡地があるということを前提に何か考えていくということは、おかしいのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。この5番について他にはいかがですか。</p>
委員	<p>私もずっと聞いていて、多分この5番のところは、私たちがいろいろ意見をしたものを行政の方たちがまとめて、どこに組み込んでいくかということの中でこの中に入るとか、例えば2番ではないからここに入れようとかということもあったのかなとも思います。</p> <p>いろいろな夢をうたった中で、それを全部取り込むと、新しい学校は実はどういうものなのかがぼやけてしまうと思うので、本当に新しい学校には何が必要かということをもう一度、私たちも考えていかなければいけないのかなと、今のお話を聞いて思いました。</p> <p>新しい学校ができたときに、何が必要かがもっと明確になってきて、そこでまた杉四小の跡地はどのように使おうかと考えていったほうがいいと思います。本当に盛り沢山になってきて、私たちもどこを視点に置いて考えていいのかがわからなくなってきてしまいました。</p>
委員	<p>一番初めにいろいろ夢を語ってくださいということで、こんな学校があったらいいなという意見を言わせていただきました。でも、先程委員がおっしゃったように、その中で何か1つなり2つなりに絞っていかないと、すべてをかなえるのは到底難しいことだと思います。</p> <p>ただ、理科教育について言えば、科学センターがなくなることでその機能が杉四小に移ってきたら、それは利用させてもらいたいというぐらいのことです。それは新校の中に必ずなければいけないものではなくて、あれば利用させてほしいというぐらいでした。</p> <p>言語教育については、帰国子女云々とも言いましたが、それについてはニーズ的に杉並区がそういう教室が欲しい、必要だと思っているという前提があれば、そういう子たちを受け入れられるようなところで、いますぐ結論が出るものではないと思います。</p> <p>言語教育で言えば、先ほど副校長から小学校でもかなりやっていますというお話がありました。私も中学で英語にかかわっていて、小学校と中学校の英語教育活動</p>

	<p>の違いとかをすごく感じています。そこで小中一貫になるのなら、連携して中学にうまくつながっていけるような教育活動ができればいい。でも、それは別にスペースが必要なものではないし、先生方とともに考えていくことなので、杉四小跡地を利用して何とかしようとかというレベルではないと思います。</p> <p>ただ、高中のところを複合的施設にしようという感じのお話は、はじめから話していましたか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>確かに地域の方たちの力を生かしていくところでは、例えば項目4番の2つ目とかもそうです。子どもと大人が触れ合っ、お互いに学び合うような機会ができればいいというのは、項目5番の最後のところと似ているような話ですが、確かに皆さんの意見を聞いていて優先順位が違ったという思いです。</p> <p>当然ながら学校の必要な機能は高中の新しい学校に入れていかななくては行かない。ただ、やはり地域としてもこんな学校になったらいいという話もたくさんありました。新しい学校にはなかなかその部分は入れていけないけれども、隣接する杉四小の跡地もあることも考えたときには、例えば地域とか子どもがかかわるような場所は、そこを何かに使っていくというようなイメージもあるかなと思い、今回は手順を間違えたかと思いつつ、皆さんの意見を聞いていました。そんな思いもあってこちらに書き込ませていただいたということです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。基本的なところとしては、高円寺中で完結するのがいいのですが、今までいただいたいろいろな話をに入れていくとなかなか難しいだろうということで、こんな手だてもあるというところでご提案いただいたのではないかと思います。</p> <p>高円寺中の場所で新しい学校をつくる。そのためには何が大事なのかは、今この項目1番から4番までで今日はかなり皆さん方からご意見をちょうだいできたと思いますので、このあたりを含めながら、今後も考えながら基本設計のベースとしていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は基本的にではなくて、計画自体が施設一体型だと思っています。大もとはやはりこれは小中一貫教育なんです。その教育を全うするために、より有効な施設一体型、しかも地域のコミュニティを全部、いろいろな意見が出たものを備えるものをつくるのが計画だと思います。「基本的に」というのは、私は計画ではないと思います。</p>
会長	<p>同じ気持ちです。事務局的にはいかがですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今日はこの基本的な考え方についてご意見をいただいて、絵を何か皆さんに提示できればと考えております。例えば、建築条件、当然想定している教室数なども含めて、何かご提示しないと明確な議論まではたどり着けないかなと思いながらご意見を聞いていました。少し時間がかかるかもしれませんが、そういうものをご用意させていただいて、具体的にまた皆さんからご意見をいただく必要があると思っておりますので、少しお時間をちょうだいできればと思います。</p>
委員	<p>1つだけ質問していいですか。高中の床面積は3万平米ですね。</p>
学校支援課長	<p>実質でどうかは別ですが法的にはそうです。</p>
委員	<p>いろいろな行政の指導等があるとか、それは変わってくれば狭いと思いますが、それらをすべて活用する形でお考えでしょうか。</p>
学校支援課長	<p>前回にその資料はお出ししたと思いますが、法的にまず使えるということと、実</p>

	<p>際使うかどうかというのは別だと思えます。結局そこまで大きいものを建てれば校庭が狭くなるなどの問題がありますから、それはまた皆さんとどうしていくかという議論はしていく必要があると思っています。</p>
委員	<p>でも、上に建てるなり地下に掘るなりすれば、それは十分全うできると思えます。そこは当然予算とかも出てくれば、これは私どもが考えるところではないですけども、そういうところをやはりきっちりとまずは提示していただきたいと思えます。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今の建築条件で、例えば高層にした場合にどこまでが可能で、そうした場合にこんな案になりますというところをやはりお見せしないと、今、委員が言ったように、なかなか具体的な検討にはつながらないと思えますので、そういうものをご用意できるよう準備していきます。</p>
委員	<p>そこでできないからこうなると、さらに杉四小で本当に特徴的なものをやる必要がある、効果があると、それも検討事項だと私は思います。</p>
委員	<p>いろいろ今まで理想や夢を含めて語ってきて、それを施設一体型小中一貫校をつくるということに進んでいるのですから、費用とかキャパの問題とかいろいろあると思えますが、まずそれで具体的に組んでみたらどうかと思えます。</p> <p>それで意見を交換するような形がどうしても必要だというときに、杉四小の跡地を有効活用すればいいのではないか。だから、今の段階ではそれはまずのけておいて、高円寺中学校跡地にやるということでもまず具体的に決めていったらいいのではないかと思います。</p> <p>それで項目1から5までいろいろ今日やりましたが、私自身の考え方としては、1としてはすべてこれでいいですが、やはり小中一貫教育の教員の統一性ですか。やはり子どもたちの9年間または11年間の学びの連続性ということに進んでいますので、教員のほうで統一性をきっちりとマスターしてほしいというのが1つです。</p> <p>それと3番の防災拠点は、先ほど他の委員が言われたとおりだと思います。やはり杉四小、杉八小は震災救援所しても残すべきですね。それは新しい学校、高円寺中学校跡地に対してはそれなりのものをつくらなければいけないですが、杉四小、杉八小においても学校とは別に住民の命がかかっているわけです。これは残すべきということで進めていかなければいけないと思えます。</p> <p>あと学校というのはやはり学力も十分にマスターしなければいけないところだと思いますが、地域と家庭と学校が三位一体となって、新しい学校をつくっていかねばいけないわけです。</p> <p>その中で地域との結びつきはここでもいろいろ書いてありますが、例えば高円寺中学校は高円寺北1丁目です。先ほど出ていましたが、町会のスペースがないとかもいろいろな中の1つです。これから先の高齢化社会を見た場合、どうしても地域、高齢者、地域との融合というものがぜひ必要です。そういう意味で支援本部のスペースもないですが、町会としてのそういうスペースがあって、それでまち全体で、子どもと年寄りというか、地域と結びつけるような学校になったらいいと思えます。雑駁ですがそんなところです。</p> <p>やはり防災にしても何にしても、町会組織というはベースになると思えます。地域と家庭と学校が三位一体で、新しいものをつくっていくものだと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。全体を通して今日の議論の中でご意見等がございましたらお願いします。</p>

委員	<p>5年後に新しい学校ができてくると思いますが、子どもたちがそこから入学するのではなくて、今の杉八小、杉四小、高中の子どもたちはもう既に教育が始まっています、その5年後にこういう新しいものに到達するという形をとっていると思います。やはり新しい学校ができてからというより、その前の段階の子どもたちの教育もそれに向けて進んでいかないと、子どもたちの教育は続いていかない。その子どもたちの9年の教育が途中で切れてしまっはおかしいので、その期間も考えていかなくてはいけない。そのためにも杉四小と杉八小と高中のこれからの5年間に、どのように一緒になっていくかが大事だと思いました。</p>
会長	<p>おっしゃるとおりです。我々も今、先生方と一緒に勉強しているのですが、これからそういう方向性で、3校でまた考えながら進めていかなければいけないというのは、この間からお話をしているところです。ありがとうございます。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>項目1の3番目は「3校の優れた教育の特色を継承・発展させる」ということですが、先生方からしてこのように細かく出るとことはやりやすいのか。私的には3校集まって新しい学校になっていくのだから、新しい何かが始まればいいのかと思います。それに向けて3校で補助的に、こういうものやってきたという指導重点みたいな中で、こういうことが出てくればいいのであって、教育方針の中にこれだけ細かくボンと出してしまうと、逆にそれが縛りになってしまって、新しいことがやりづらくなってしまったりはしないでしょうか。</p>
会長	<p>どれもこれからやらなければいけないというか、大事なことだと思いますが、今は基本的なところは言語活動の充実をすべての教科でどうやって入れ込んでいこうかというのが、3校の根っこになっているところです。</p> <p>その上に立って、先生方とこの後何年か話をする上で、やはりここについてはみんなでやろうねというところは当然出てくると思います。</p>
委員	<p>教育方針の基本は変わらないものですよ。</p>
会長	<p>そうですね。根っこのところ、実際にはここまで細かい教育目標をつくることはないと思います。</p>
委員	<p>今はたたき台という形、サンプルのような形で教育方針を出されています。実際に最終的にはもっとこの半分ぐらいの長さの簡潔な……。</p>
会長	<p>そうでないと子どもたちがわからないですから。</p>
委員	<p>そういうものになると思います。そこへいくためには、踏まえなければならない具体的なものとして、ここで今これを洗っていたわけですよ。いずれこれを含めたもう少し一般的な表現で、それを解説するサブの文章が別についているような形にきつくなっていくと思います。</p> <p>1つ気になっていることは、小学校1年生、2年生の小さい子どもたちから中学3年生まで、どれだけ授業が違っているかということです。教え方自体も小学校低学年に接するときと、中学生の一斉授業でもレクチャー型や実験を大事にすることもある。実際に実技が大事だから、それを生かしている。時間が足りないからプリントをいっぱいつくって、何枚も渡して、効率をよくして単元を終わらせていくみたいな学校もあるわけです。</p> <p>小中一貫とって、何を一貫させるのか。人間の成長を一貫して、いろいろな個性ある子どもを9年間見通して育てていきたい。人間を育てるビジョンとしての9</p>

	<p>年一貫ということ。</p> <p>小学校の初期にやっている言語能力学習が、一体どのように小から中へ行き、中3からその先へといくのか。何が言語能力を育てる要素なのでしょう。</p> <p>コミュニケーション能力という言葉がよく使われますが、コミュニケーションというのはどういうことなのでしょう。人によって随分意味の持たせ方、聞き手の受け取り方が変化してしまっているようなものだろうと思います。</p> <p>そこで先生方には大変なご苦労ですが、こういう子どもたちを人間として9年間育てるイメージをきちんと持っていただく。生々しくは日常の1時間、1時間の授業で忙しく追われている、そのような生活の中から9年間をどのようにカリキュラムを見るのでしょうか。</p> <p>言葉教育といった場合に、小1から中3まで、こんな高い長い表をつくりますよね。言語能力の中のコミュニケーション能力がこれとか、文字書き能力でも単に漢字が書ける能力みたいなものや、中学生になると始まる古典を理解するとか、古典だけでもでかいテーマになってしまいます。ですから、言語観をどのように育てていくのかも含めて、先生方のご苦労はとんでもなく大きいことです。9年を通したこのプログラムというか、これは簡単にできることではない。月一の会合を開くことでさえも、実は大変な状況だろうと想像しています。</p> <p>でも、これを具体化させていかないと、小中一貫という言葉が本当の意味を持たないように思います。各教科以外の部活動とか行事活動というような様々な教育活動を9年間でどのように配列して、中身が進化していくのか。子どもがそれを習得して、家庭も皆さんも納得できる状態が出てくるのか。</p> <p>各校から3～4人ずつで、プロジェクトチームをつくって、普段は授業をしなくていいからぐらいに先生方を待遇しないと、そういうレポートは書けないかと思います。それほど実は厄介なこと、至難なことだと思います。</p> <p>長くなってすみませんが、見かけのいい授業を公開授業として見せていく程度のことなら何とかできてしまうでしょうけれども、9年を見るときとなると大変です。教育委員会というか行政には、学校へこれを大きく支援していただきたいということです。課外の教員というか、できれば授業をかわりに持っていただく。そのかわり高中の専科の先生が、その会議のために時間を割いていくことができるような、教員の運用でご協力をいただけると、きっといい内容のものもできてくると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ゼロからつくれと言われたら、もうとてもではないけれども自信がないですね。</p> <p>今までも杉並9年間というのは小中一貫をずっと区内全部でここ何年も取り組んできているので、かなりそちらのノウハウはあります。もちろんそんなものもいただきながら、高円寺らしさというのもありますので、この数年間でどうするのかというので、うちの教員なんか正直言ってかなり焦っています。</p> <p>言語活動の授業も小学校の先生方とやったらすごくおもしろい。こんなに楽しい授業を一緒につくっていきながら、子どもたちを9年間育てていくためにどうしたらいいのかと、小学校の先生とも膝を突き合わせて話すのですが、こういう経験は私にはすごく貴重でした。ですので、本当に時間がいくらあっても足りないかもしれないですが、ゼロからの出発ではないというのはありますので、その辺は心強く思っております。</p> <p>そのあたりも含めて、これからの作業はハード面、ソフト面もありますし、カリ</p>

	<p>キュラムも生活指導もありますし、通学路もあります。多岐多様に渡っての検討を委員の皆様方からご意見をちょうだいしながら進めていくことになるのではないかと考えておりますので、事務局の皆様とも力を合わせながら、いい学校ができるように努力できればと思います。ぜひいろいろな意味でのご意見をちょうだいできると幸いです。</p> <p>今日は長い時間、この基本的な考え方について皆様方のご意見をちょうだいして感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>では、次の次第、その他について、事務局よりお願いします。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今日は基本的な考え方について、本当に様々なご意見をいただきました。ありがとうございます。先ほどの新校の教育基本方針で、改築の基本的なコンセプトの中に入れ込んでいく必要があるということで、本当に仮置きで、今先生方で検討されている内容もあるので、その辺も含めて少し整理してブラッシュアップした形でまたお出しできればと思います。</p> <p>事務連絡ですが、本日の懇談会の資料とあわせて、渋谷本町学園の視察についての概要説明と質疑応答を改めて送付させていただきました。少し追記させていただいている部分もございますので、送らせていただいたものが最新版ということで保管していただければと思います。</p> <p>最後に次回の日程です。区でも議会の日程等もございますが、次の第7回目は10月後半ぐらいに設定できればありがたいと考えております。この後は会長に日程調整をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、次回はいろいろな面の整理を含めて、10月半ばということでスケジュールをお伺いしますがよろしいでしょうか。</p> <p>(次回の日程調整)</p>
新しい学校づくり係長	<p>日程は戻って検討して、またご相談させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、次回の会場は杉並第四小学校と考えておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>では、その他に何かございましたらちょうだいしておきますがいかがですか。よろしいですか。事務局からはよろしいですか。</p> <p>それでは、きょうは本当に貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>以上で本日の懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>